

FACT 実施・採点・再評価 記録シート

10項目・20点 | 3回試行の最大パフォーマンスと代償・安全性を1枚で記録

本紙は記録・集計補助です。公式の課題文・教示・詳細な判定基準は掲載していません。実施・採点は原著論文または施設で採用する原資料に沿い、安全を優先してください。

患者ID		評価日	年 月 日	評価者	
評価区分	☐ 初回 ☐ 再評価	場所		麻痺側等	

1 | 実施条件・安全性

開始・支持条件	☐ 端座位 ☐ 両足底接地 ☐ 足台使用 ☐ 上肢支持あり ☐ 介助位置固定				
座面・指示	座面高： cm 座面／足台： 指示： ☐ 口頭 ☐ デモ ☐ ジェスチャー				
試行・中止理由	原則3回 ☐ 全項目3回 ☐ 一部1 2回 ☐ 中止 理由：疼痛／疲労／血圧変動／転倒リスク／その他				

2 | 採点・観察（各項目は原則3回、最大パフォーマンスを採用）

項目	許容得点	1回目	2回目	3回目	採用点	代償・左右差・安全性・介助
項目1	0・1					
項目2	0・1					
項目3	0・1					
項目4	0・2					
項目5	0・1・2					
項目6	0・1・2					
項目7	0・2					
項目8	0・3					
項目9	0・3					
項目10	0・3					
合計			／20点		入力状況	0／10項目

配点確認：項目1 3=0/1、項目4・7=0/2、項目5・6=0/1/2、項目8 10=0/3。項目5・6の左右別結果は観察欄へ記録します。

3 | 解釈・介入・再評価

止まった課題			主な代償			
安全性・介助量			次回の介入優先			
前回日	年 月 日	前回点	／20	今回差	点	再評価日 年 月 日
申し送り・再評価条件	測定条件差、成功の再現性、疲労、疼痛、血圧変動、生活動作との関係、次回確認点：					

歩行カットオフは公式の重症度区分ではありません。8・9・11・15点は対象、評価時期、アウトカムが異なるため、点数だけで歩行自立や予後を決定しません。

記録のポイント：合計点だけでなく、条件、止まった課題、上肢支持・反動・骨盤後傾などの代償、安全性、介助量、次回の狙いをセットで残します。再評価では前回と条件をそろえ、急性期研究のMCID 4点は対象限定の参考値として扱います。

原著：奥田ほか（2006） | 臨床記録用 v4 | 2026-08-13 / rehabilikunblog.com